

## 学校評価調査の分析（中学校）

### 1 学校経営

学校長のリーダーシップのもと学校全体で取り組んでいる教育目標である「地域から世界で活躍するグローバル人材を育成する」という目標が、生徒にも保護者にも伝わっていると考えられる。

### 2 学習指導

日常の授業の取組や長期休業中の補充教室による指導により、おおむね満足しているのではないかと考えられる。高校受検を経験せずに併設の高等学校へ進学するため、中高一貫教育校の中学生として身につけなければならない力を明確にして授業を展開する必要がある。さらに、教員相互の授業公開により、指導方法の工夫改善や教材教具の開発等を研究する必要がある。

### 3 生徒指導

学校のルール等については普段から丁寧に声かけをおこない、また、月2回の交通立番など交通安全についての指導をしているものの生徒の理解としては低い傾向にある。「いじめ防止・早期発見・早期対応」の項目では、学年が上がるにつれて生徒の“どちらかというとはてはまらない”“ほとんどあてはまらない”の割合が高いため、普段からの生徒観察をしっかり行い情報共有するとともに、丁寧な面談等を通して生徒一人ひとりに寄り添いながら早期発見・早期対応に努める必要がある。

### 4 進路指導

中高一貫教育校であるので、高等学校の学習内容を先取りしたり進路目標等を中学在学中から指導したりしている。中学生も高大連携事業等に参加することで刺激を与えて興味関心を持たせたり、面談をより充実させたりしていく必要がある。生徒のアンケート結果より特に、2、3年生の面談を充実させることが重要である。

### 5 特別活動等

本年度の学園祭（体育祭）では、3年生が中学団リーダーとなって中学縦割り団活動が実施できた。このことが大きな自信となったものの、自分たち自身の評価としては厳しく見ている面がある。できたことを適切に評価し、次への意欲喚起につなげたい。

### 6 学校図書館

生徒・保護者ともに図書館は利用しやすいように整備されていると評価する割合は高く、また生徒の読書意欲も旺盛である。教員が生徒に意図的に読ませたい図書を紹介したり、教科でも図書館を利用したりしていく機会をさらに増やす必要がある。

### 7 保健・安全指導

教育相談や特別支援などさまざまな課題を抱える生徒が増加しており、学年が上がるにつれて生徒の中には相談しやすい環境づくりができていないと評価する傾向がある。

## 8 人権教育

人権に関する指導については3年間を見通して、また学年間で連携した指導ができるように指導計画を見直したり教職員の研修等を深めたりしていく必要がある。

## 9 環境教育

本校はまじめな生徒が多いので、清掃等しっかり取り組んでいる。また、学校は生徒への指導を行っているものの生徒アンケートの結果からは学年が上がるにつれてその指導が浸透していない傾向がある。

## 10 事務・管理

事務室や業務員の方の努力により、生徒・保護者とも施設整備については高い評価を得ている。今後も安全安心な学校づくりに向け、点検、整備に努めていきたい。

## 11 その他学校の取組み

「学校はホームページ等を活用して、適切に情報を発信している。」の評価について、77%の保護者が“ほぼあてはまる”もしくは“ややあてはまる”と回答している。さらにこの評価が高くなるように積極的に情報発信を行いたい。また、「水口東中学校で充実した学校生活を送っている。」の評価について、84%の生徒が“ほぼあてはまる”もしくは“ややあてはまる”と肯定的に回答している。今後もより充実した学校生活が送れるように取り組んでいくことが求められる。